

市町村制度融資担当者へ聞く

中小企業の未来をひらく

館林市
TATEBAYASHI CITY

制度融資

地方創生の流れの中で、地域経済において市町村が果たす役割が、これまで以上に大きくなってきています。本連載では、群馬県内各市町村の、制度融資担当者に登場していただき、制度融資を中心に、中小企業施策全般について、考え方や方向性、具体的な施策等をお伺いします。今回は、館林市経済部商業観光課を訪れ、貝瀬主事にお話を聞いてきました。



GUEST

貝瀬康斗 様

経済部商業観光課商業振興係
主事



経済部商業観光課の皆さま

左から、柳川主事、額田係長、貝瀬主事

館林市観光マスコットキャラクターぼんちゃん

酒井課長、栗原係長代理

Q. 中小企業施策の基本的なコンセプト・考え方等をお教えてください。

館林市は、古くは鉄道の開通とともに製粉業及び繊維業を中心に産業の近代化が進み、近年では多くの食品産業が立地するなどの発展をとげてきました。この背景には館林市に立地する中小企業が技術を継承しながら、雇用の創出や消費の拡大を通して、地域経済を活性化させる好循環を生み出してきたことがあげられます。

現在、中小企業を取り巻く環境は厳しさを増しておりますが、館林市が掲げる「出会いと交流のある元気で活力のあるまち」として発展し続けるには、中小企業、経済団体、大企業者、市民、関係団体及び市が中小企業の果たす役割の重要性を理解し、各々が協働して中小企業の振興を推進する必要があります。

館林市では新規創業者や事業者の活発な活動、労働環境の整備など、事業者への積極的な支援の実施に努めていきたいと考えています。

Q. 中小企業向け制度融資メニューをお教えてください。

県市協調の小口資金をはじめ、市独自の融資制度として以下のメニューを用意しています。

○経営安定資金

運転資金。売上高又は粗利益が減少していることが条件となりますが、小口資金より融資限度額が高く低利率です。

○経営振興資金（設備）

設備資金。小口資金より融資限度額が高く、積極的な設備投資にも対応します。また、低利率で融資期間も長いので、無理のない設備導入が図れます。

主な制度融資の保証実績 (単位: 件、千円)

制度名	年度	保証承諾		保証債務残高	
		件数	金額	件数	金額
館林市 小口資金	27年度	59	338,400	246	846,246
	29年 1月末	41	211,064	240	793,718
館林市 経営安定資金※	27年度	101	705,300	272	1,052,913
館林市 経営振興資金※	27年度	4	23,500	16	71,224

※保証承諾件数・金額及び保証債務残高・件数は、金融機関プロパー融資件数・金額を含みます。

また、年度末の一括集計のため、年度途中の数値は掲出できません。

●「29年1月末」は、28年度の10ヶ月間の実績。

Q. 特徴的な制度融資、おススメの制度融資があったら教えてください。

○利子補給制度

市独自の融資制度である経営安定資金、経営振興資金をご利用された市内中小企業者に対して利子補給制度を実施しています。融資を受けた月から1年間の支払い利子額の100%を補給する制度で、借入時の負担軽減が図れます。

また、市独自の創業融資は設けておりませんが、国や県、その他金融機関が取り扱っている創業融資に対して同様の利子補給制度を実施しています。創業時の負担軽減が図れます。

Q. 制度融資以外の、中小企業や創業者向けの施策を教えてください。

館林市を含む中小企業支援関係10団体が「たてばやし創業応援ネットワーク」を発足し、これから創業される方や創業間もない方に向けて、各々のニーズやステージに応じたサポートをワンストップで行っております。また、関係機関と協調で融資相談会の開催や、まちなかの空き店舗を活用して創業する方に対する支援、市内にお店を構える事業者の店舗リニューアルに対する助成など、幅広く中小企業や創業者向けの施策を実施しております。

Q. 今後の中小企業施策や制度融資に対する思いを教えてください。

館林市は、市内の96%以上の事業所が中小企業であり、中小企業の振興は本市にとって欠かせません。新規創業者や事業者の活発な活動、労働環境の整備など、事業者への積極的な支援の実施に努めていきたいと考えております。とりわけ、制度融資においては経済状況や事業者の動向等を注視しつつ利便性の向上に努めることで、中小企業の経営合理化や資金繰り安定化など中小企業の振興に寄与したいです。